

平成29年度 第1回
みと好文カレッジ運営審議会

日 時 平成29年7月26日(水)
午後2時00分～3時30分
場 所 水戸市総合教育研究所
研究室7

みと好文カレッジ

次 第

1 開会

2 運営審議会委員委嘱状交付

3 あいさつ

4 議題

◎ 報告事項

(1) 平成 29 年度みと好文カレッジ運営方針及び主要施策について

(2) 平成 29 年度みと好文カレッジ事業実施計画について

(3) 平成 29 年度市民センターにおける生涯学習活動の重点目標について

◎ 協議事項

(1) さきがけ塾（後期）について

(2) その他

9 閉会

報告事項（1）

平成 29 年度みと好文カレッジ運営方針並びに主要施策について

【運営方針】

生涯学習都市宣言を踏まえ、水戸市生涯学習推進基本計画（第4次）に基づく施策を推進し、現代の大きな課題である少子高齢化、高度情報化、地域社会における連帯感の欠如や家庭の教育力の低下等の現代的課題解決のための学習機会を提供するとともに、学んだ成果が地域活動やまちづくりにつながるよう人材の育成に努める。

また、多様化、高度化する市民のニーズに応えるため、市民センターとの連携を強化しながら、時代の新たな課題に対応した企画や学習プログラムの開発に努める。

さらに、市民の生涯学習活動の振興を図るために、社会教育活動について、基礎的なことからより専門的・実践的な知識や技術について、市民センター職員の力量を高める研修の機会を充実させ、地域と連携した現代的課題に対する事業の取り組みなど、支援・指導の強化に一層努める。

【主要施策】

（1）市民センターへの支援・指導

① 東湖塾の開催

市民センター職員に生涯学習の基礎となる社会教育の知識を深める研修や専門的・実践的な知識、技術を身につけ、職員の力量を高めるための研修会等を開催する。

さらに、現代的課題解決に向けた学習プログラムの研究・開発を行うとともに、多様化、高度化する市民のニーズに応え、時代にあった新しい講座を発掘し、先進的な市民センター講座として提案する。

- ◎ 新任職員研修（集合研修、訪問研修）
- ◎ 全体研修（集合研修、ブロック研修、訪問研修）
- ◎ 学習プログラム作成研修（ブロック研修、訪問研修）
- ◎ 新講座提案事業（集合研修）

② 好文塾の開催

東湖塾で研究・開発された現代的課題を取り扱った学習プログラムの作成企画講座が、市民センター事業として根付くよう「好文塾」と名づけ、市民センターとみと好文カレッジの共同事業として開催する。また、作成した学習プログラムがすべての市民センターにおいて取り組めるようモデル事業として位置づけ、市民センター活動を支援する。

- ◎ ブロック単位の市民センター職員とみと好文カレッジ職員で企画した学習プログラム講座の開催
- ◎ 単独の市民センター職員とみと好文カレッジ職員で企画した学習プログラム講座の開催

③ 市民ニーズに対応した学習機会の提供

市民の学習ニーズの把握に努め「個人の要望」や「社会の要請」に応じた学習をバランス良く提供できるよう市民センターの支援を行う。

- ◎ 市民ニーズを捉えた学習機会の提供
- ◎ 市民センター事業の現状と課題の調査

④ 事業評価の推進

講座や事業に参加した市民が日常生活の中で、学習の成果をどのように活かしているのか、また、地域の中で、どれだけ活動に関わっているのかなど、事業の成果を検証することが求られている。そのため、市民センターにおいては、実施した講座や事業の自己評価を行うとともに、運営審議会等による自己評価に基づいた第三者評価を行い、より効果的な事業運営を進められるよう事業評価を推進する。

また、みと好文カレッジ等による事業評価制度導入について検討を進める。

- ◎ 市民センターによる自己評価の実施
- ◎ 市民センター運営審議会委員による第三者評価の実施
- ◎ みと好文カレッジ等による事業評価制度導入の検討

(2) 全市的な生涯学習の推進

① みと弘道館大学の開催

急激な社会の変化に対応し、人間性豊かな生活を営むために人々が学習する必要のある課題、いわゆる現代的課題解決に向けた学習講座を市民に提供するとともに、学んだ成果を生活の充実や向上に生かされるよう内容の充実を図る。

また、時代にあった講座や「水戸市生涯学習サポーター」との協働による先進的な学習プログラムを市民に提供する。

② 子育て応援塾の開催

家庭の教育力の向上を図るため、子育てに関する講座や学習機会を提供する「子育て応援塾」を開催する。

- ◎ 親業訓練入門講座（2コース）
- ◎ 親業訓練入門講座（働く親対象1コース）

③ 生涯学習サポーターチャレンジ講座「さきがけ塾」の開催

生涯学習活動をとおり、市民と行政とのまちづくりに携わる人のために「さきがけ塾」を開催する。講座では、市民生活を豊かにする学習プログラムを考え、実施に向けた方法を探り、行政が主催する講座の企画・実施に参画する人材の確保を図る。

④ 「水戸市生涯学習サポーター」活動の推進

「さきがけ塾」修了生が登録する「水戸市生涯学習サポーター」による市民と行政との協働

企画講座を開催し、安心安全なまちづくりを推進する。

⑤ パイロット事業の開発・研究

現代社会の課題や人づくりをテーマとしたもの、専門性の高い講座など、先進的な講座を開発・研究し、開発した講座を各市民センター等の社会教育施設や地域団体でも実施できるように支援する。

⑥ ほっとひといき夢らんどの開催

家庭教育支援事業の一環として、1歳6ヶ月から3歳までの子どもと親を対象に、子ども同士が遊んだり、子育て支援サークルのメンバーと情報交換を行う場を提供するとともに、家庭教育に関する講座を開催することによって、育児に対する悩みやストレスを解消できるよう子育て支援を推進する。

⑦ 「あなたも師・達人制度」の活用促進

「あなたも師・達人制度」の登録指導者の募集や活用を広報「みと」やホームページをはじめ各種広報媒体により周知を図るとともに、市民センター等の社会教育施設やPTA、ボランティア団体、NPO等が主催する講座や研修会の講師として積極的に紹介し、登録指導者の有効活用を促進する。

⑧ 育児ボランティア制度の利用促進

子育て中の保護者が生涯学習活動に参加しやすくするため、講座開催中に別室で子供を預かる「育児ボランティア制度」の利用促進と登録ボランティアの拡充を図るため、市民センター等の社会教育施設や社会教育関係団体に積極的に紹介し、制度の利用を促進する。

⑨ 学習情報の提供

生涯学習活動の推進を図るために、みと好文カレッジの事業等を掲載した生涯学習情報誌の発行や見やすいホームページへの更新をするなど、本市の生涯学習活動を積極的にPRする。

⑩ 学習相談事業の充実

市民やボランティア団体等の生涯学習相談に対して、相談内容や相談分野に応じて適切で役立つ助言ができるよう、各種生涯学習情報の収集と整理をすすめ、学習相談事業の充実を図る。

⑪ 国・県・他市町村・企業・NPO等民間非営利団体・教育機関との連携の推進

国や県・他市町村との連携を図り、相互の生涯学習に関する情報を共有化するとともに、企業・NPO等民間非営利団体・教育機関と連携し、それぞれが持つ人的・物的資源の活用を図る。

⑫ 水戸市生涯学習推進基本計画（第4次）に基づく施策の推進

生涯学習社会の実現を目指し、水戸市生涯学習推進基本計画（第4次）に基づく施策を推進する。

報告事項（2）

平成29年度みと好文カレッジ事業実施計画について

1 市民センターへの支援・指導

(1) 東湖塾

市民センター職員に生涯学習の基礎となる社会教育の知識を深める研修や専門的・実践的な知識、技術を身につけ、職員の力量を高めるための研修会等を開催する。

さらに、現代的課題解決のための学習プログラムの研究・開発を行うとともに、多様化、高度化する市民のニーズに応え、時代にあった新しい講座を発掘し、先進的な市民センター講座として提案する。

研修方法は、一堂に会する「集合研修」と各市民センターへ出向く「訪問研修」を取り入れる。

① 新任職員研修

市民センターに人事異動により新たに着任した者や新規採用者を対象に、市民センター職員として事務事業を遂行するための基本的知識を身につける。

ア 集合研修

- 対象者 平成29年度新任市民センター所長及び新任嘱託員 31名
- 参加者 総数30名
- 内 容

日 時	内 容	説 明 者	会 場
4月19日（水） 9時30分～16時	地域防災について	防災・危機管理課 危機管理室長	本庁舎南側 臨時庁舎2F 「大会議室」
	市民センターについて	市民生活課副参事	
	電送窓口関係について	市民課窓口第一・二係長	
	接遇について	福祉総務課政策係係長	
	生涯学習の推進について	みと好文カレッジ所長	

イ 集合研修会

- 対象者 着任1年目、2年目の市民センター所長 16名
- 内 容 懇談会形式により、市民生活課、生涯学習課、みと好文カレッジ職員、各市民センター所長が一堂に会し、市民センターに関する運営上のこと、生涯学習に関することについて懇談する。
- 日 時 平成29年5月17日（水）午前10時から12時まで
- 会 場 本庁舎南側臨時庁舎「大会議室」
- 参加者 総数19名

ウ 訪問研修

- 対象者 平成29年4月1日付新任所長及び新規採用嘱託員29名、2年目所長及び嘱託員20名
 - 内 容 ①市民センターの運営について、②生涯学習の推進について
 - 日 程 年間2回実施 ※別添資料一覧「平成29年度新任所長・嘱託員訪問研修実施計画及び2年目所長・嘱託員振り返り訪問研修実施計画」を参照
- ※上記計画のほか、市民センターからの要請（疑問や問題軽減）を受け、訪問研修を実施する。

② 全体研修

市民センター職員として、生涯学習の中の社会教育事業を推進していくための基礎知識の習得や事業の企画立案の進め方など、職員の支援にあたる。

◎ ブロック研修「意見交流会」

- 対象者 ①中央ブロックの嘱託員, ②南部ブロックの嘱託員
- 内 容 市民センターにおける生涯学習等を進める上で疑問に感じている事について, 同じ業務に携わる嘱託員同士が一堂に会し意見交換を行うことにより, ブロック内職員の交流を深め事務の効率化を図る一助とする。
- 日 時 ①中央ブロック 平成 29 年 9 月 19 日 (火) 午後 1 時 30 分から 4 時まで
②南部ブロック 平成 29 年 8 月 23 日 (月) 午後 2 時から 4 時まで
- 会 場 ①中央ブロック 常磐市民センター 会議室
②南部ブロック 緑岡市民センター 会議室

③ 学習プログラム作成研修

社会教育事業に従事する職員として、高度で多様化した住民のニーズに対応するため、専門的・実践的な知識や技術を身につけ、地域住民に様々な学習の機会を提供する必要がある。

そこで、市民センターの職員を対象に、現代的課題や地域課題の見出し方や課題解決のための学習プログラム作成に関する知識や技術を習得することを目的とする。

- 対 象 市内 6 ブロックの内から 1 ブロックを指定して開催しており, 今年度は北部ブロック (柳河, 渡里, 飯富, 国田市民センター) の各市民センター選出の嘱託員。なお, 研修を希望する個別の市民センターにも対応する。
- 内 容 同じブロックの職員が共同で地域課題の整理や学習プログラムのテーマを選定し, ブロック内の地域住民を対象とした講座を企画・実施する。
- 日 程 平成 29 年 6 月から 9 月までに 5 回程度実施予定
- 会 場 北部ブロック内の市民センター

④ 新講座提案事業

水戸市市民センター運営方針及び重点目標において、生涯学習を推進する中で家庭教育学級 (ふれあい学級) の開催を掲げている。このことは、教育基本法第 10 条に規定されているとおり、国や地方公共団体が取り組むべき課題の一つである。

本講座では、親子関係のほか、あらゆる人間関係の築き方を理解することで、家庭教育学級における事業展開の一助とする。

- 対象者 市民センター等家庭教育学級担当職員, 希望者
- 内 容 「子育ての悩み, 解消法カウンセリング・アドバイス (仮)」
- 講 師 鈴木 宏子 (臨床心理士, 学校心理士)
- 日 時 平成 29 年 8 月 21 日 (月)
- 会 場 総合教育研究所 研究室 7

(2) 好文塾

東湖塾で研究・開発された現代的課題を取り扱った学習プログラムの作成企画講座が、市民センター事業として根付くよう「好文塾」と名づけ、市民センターとみと好文カレッジとの共同事業として開催する。また、作成した学習プログラムが全ての市民センターにおいて取り組めるようモデル事業として位置づけ、市民センター活動を支援する。

- ① 水戸市教育委員会みと好文カレッジ・水戸市寿市民センター・寿地区自治連合団体共同事業『町内会・自治会コミュニティの連帯感，絆は！』Ⅱ～地域力を高めるために 今できること～住民がともに支え合い，安心して暮らせる地域社会づくりに向けて，住民自治，福祉，防災等について学び，今後の地域コミュニティ活動の一助とする。

- 対象者 寿地区内居住者及び勤務者 50 名
- 回 数 4 回
- 会 場 水戸市寿市民センター
- 内容

日 時	内 容	講 師
6 月 25 日 (日) 10:00～11:30	少子高齢化における町内会 ・自治会活動の点検 ～連帯感を維持しよう～	講師 市民生活課 市民活動・消費生活係長 鬼沢 隆文
10 月 15 日 (日) 10:00～11:30	高齢化社会に対応する 地域社会づくり ～地域でできることとは～	講師 高齢福祉課 ※地域支援センター
未定	みんなでつくる防災のまち水戸 ～地域における防災～	講師 防災・危機管理課
未定	楽しく，優しく，次の世代に渡せる 「市民の羅針盤」	講師 元茨城大学准教授 長谷川 幸介 先生

- ② 北部ブロック好文塾

- 対象者 北部ブロック内住民（柳河，渡里，飯富，国田市民センター）
- 内 容 北部ブロックの職員が学習プログラム作成研修で企画する講座を実施予定
- 会 場 調整中

2 全市的な生涯学習の推進

(1) みと弘道館大学の開催

急激な社会の変化に対応し，人間性豊かな生活を営むために人々が学習する必要がある課題，いわゆる現代的課題解決に向けた学習講座を市民に提供するとともに，学んだ成果を生活の充実や向上に活かされるよう内容の充実を図る。

また，時代にあった講座や「水戸市生涯学習サポーター」との協働による学習プログラムを市民に提供する。

① 茨城しぐさ

「相互扶助」や「共生」の精神を学び，「お互いが仲良く，気持ちよく生活する」ための方策を考えることにより，規範意識の向上と良好な人間関係を築く一助とすることを目的とする。

- 対 象 小学4年生から中学3年生及びその保護者。学校単位で募集（現時点での申込校は2校（緑岡・下大野小学校）継続募集中。
- 講 師 NPO法人 ひと・まちねっとわーく
- 日 程 平成29年5月1日から平成30年2月28日（募集締切12月1日）

※講座内容等については，別添資料「みと弘道館大学 茨城しぐさ 募集案内」を参照

② ゼロからはじめるシニアパソコン教室

市内のシニア世代を対象に、インターネットの使い方や簡単な文書作成などを体験していただき、ITをより身近に感じていただく契機とするとともに、教員の指導のもと、生徒がこれまでに習得した知識やスキルを生かして参加者に指導を行うことにより、地域住民への社会貢献へとつなげる。

- 対象者 概ね 50 歳以上の水戸市在住のパソコン初心者
- 定員 20 名（定員を超えた場合は抽選，結果は申込者全員に通知）
- 参加費 1,000 円（テキスト代として）
- 日程 8 月 28 日（月）・29 日（火）午前 10 時～正午，午後 1 時～3 時
- 共催 水戸女子高等学校
- 講師 水戸女子高等学校商業科教員（アシスタントとして同校商業科生徒）
- 内容

	時間	内容	指導
1 日目	午前 10 時～正午	触ってみよう！キーボード	水戸女子高等学校商業科教員及び同校商業科生徒
	午後 1 時～3 時	インターネットで検索してみよう！	
2 日目	午前 10 時～正午	パソコンでメッセージカードを作ってみよう！	
	午後 1 時～3 時	メッセージカードに写真・イラストを取り込んでみよう！	

③ 水戸市生涯学習サポーター活動の推進

人材育成講座「さきがけ塾」の修了生が水戸市生涯学習サポーターに登録し、みと好文カレッジとの協働企画講座を市民に提供する。現在の登録者数は、第 1 期生から 3 期生までで 37 名である。なお、生涯学習サポーターの主體的な学習活動を促進するため、4 月に「生涯学習サポーターの会」を発足した。

生涯学習サポーター企画講座

1	出前講座 開放学級のお友達とドーンとやってみよう ー夏季休業中の放課後子ども教室（開放学級）の支援事業ー	女性・若者企画提案チャレンジ支援事業（決定）
2	I LOVE 納豆 Part. 2	大好きいばらき地方創生応援事業（申請中）
3	騙しの手口を知って、「Stop the 詐欺！」 （寿地区自治連合団体との連携事業）	大好きいばらき地方創生応援事業（申請中）
4	つくば最新研究情報政策	みと好文カレッジとの協働事業
5	親子が幸せになるヒント（父親編）	みと好文カレッジとの協働事業

(2) 子育て応援塾の開催

家庭の教育力の向上を図るため、子育てに関する講座や学習機会を提供する「子育て応援塾」を開催する。

① 親業訓練入門講座

グループディスカッションやロールプレイなどの体験学習を通して、親としての役割や子どもとのコミュニケーションの取り方について考え見つけ直す場面を多く取り入れ、家庭の教育力の向上を目指す。

- 対象者 妊娠期の母親，乳幼児から小・中・高校生までの子を持つ親
- 回数 2時間×3回（Aコース），6時間×1回（B，Cコース）
- 定員 1講座につき20名 託児付き
- 内容 10時～12時（Aコース），9時30分～16時30分（B，Cコース）

回数	内 容	入門Aコース	入門Bコース	入門Cコース
第1回	親には役割があるの？	6月7日（水）	7月2日（日）	9月24日（日）
第2回	子どもと接するのって難しい？	6月14日（水）		
第3回	子どもの気持ちがわかる？	6月28日（水）		

- 講 師 親業訓練シニアインストラクター・コミュニケーションリーダー1級
中島 由佳子

- 会 場 水戸市立福祉ボランティア会館2階ミオス
- 受講者 Aコース 21人（託児 延36人），Bコース 17人（託児6人）

(3) さきがけ塾の開催

生涯学習活動をとおり、市民と行政とのまちづくりに携わる人のために「さきがけ塾」を開催する。ここでは、市民生活を豊かにする学習プログラムを考え、実施に向けた方法を探り、行政が主催する講座の企画・実施に参画する人材の確保を図る。

- 対象者 生涯学習や学習プログラムの作成に関心のある市民
- 回数 月1～2回，水曜日18時30分～20時30分 各年20講座程度
- コース 「参画と協働のひとづくり・まちづくりコース」
- 受講生 23名
- 会 場 水戸市五軒市民センター 201号室
- 内 容 さきがけ塾第四期生・一年次

回	実施日	講 座 内 容	講 師 等
11	4月12日（水） 18:30～20:30	チラシづくりに挑戦	生涯学習サポーター 見澤淑恵
12	5月10日（水） 18:30～20:30	学習プログラムづくりの実践	NPO法人ひと・まちなつとわーく 理事 高瀬 利博
13	5月24日（水） 18:30～20:30	学習プログラムづくり① コース別ブレインストーミング	NPO法人ひと・まちなつとわーく 高瀬利博・綿引 均・小平文和
14	6月14日（水） 18:30～20:30	学習プログラムづくり②	ひと・まちなつとわーく 高瀬利博 綿引 均・小平文和・栗田将夫
15	6月28日（水） 18:30～20:30	学習プログラムづくり③	ひと・まちなつとわーく 高瀬利博 綿引 均・小平文和・栗田将夫
16	7月12日（水） 18:30～20:30	学習プログラムづくり④	ひと・まちなつとわーく 高瀬利博 綿引 均・小平文和・栗田将夫
17	7月26日（水） 18:30～20:30	学習プログラムづくり⑤	ひと・まちなつとわーく 高瀬利博 綿引 均・小平文和・栗田将夫
18	8月23日（水） 18:30～20:30	学習プログラムづくり⑥	ひと・まちなつとわーく 高瀬利博 綿引 均・小平文和・栗田将夫

【参考】 さきがけ塾の開始（平成 22 年 10 月）

第 1 期 子育て支援コース・地域支援コース

第 2 期 粋な幸齢期コース・暮らしと環境コース

第 3 期 社会の宝（子ども）育成コース・縁がつなぐコミュニティコース

第 4 期 参画と協働のひとづくり・まちづくり

※第四期生 2 年次の日時、講座内容については、「協議事項（1）」のとおり。

(4) 「さきがけ塾」塾生との協働企画講座

市民と行政との協働による学習講座の企画・実施に携わる「水戸市生涯学習サポーター」を目指し、「さきがけ塾」第四期生のテーマ『参画と協働のひとづくり・まちづくり』を学んだ受講生が、学習の成果として作成した講座を市民に提供する。

※講座内容等については、現在学習プログラムづくりで作成中である。なお、協働企画講座については、10 月から実施する予定である。

(5) 「ほっとひといき夢らんど」の開催

家庭教育支援事業の一環として、1 歳 6 ヶ月以上の未就園児と親を対象に、就園前に集団の中で子ども同士が遊んだり、子育て支援サークルのメンバーと意見交換を行う場を提供するとともに、家庭教育に関する講座を開催することによって、育児に対する悩みやストレスを解消できるよう子育て支援を推進する。

○対象者 Aコース 水戸市在住の 1 歳 6 か月から 2 歳 6 か月までの未就園児と保護者

Bコース 水戸市在住の 2 歳 6 か月から 4 歳までの未就園児と保護者

○日 時 Aコース 毎月第 1 木曜日 毎回午前 10 時～11 時 30 分

Bコース 毎月第 3 木曜日 毎回午前 10 時～11 時 30 分

○会 場 水戸市福祉ボランティア会館（ミオス）

○受講者 Aコース 親子 25 組

Bコース 親子 25 組

○参加費 各コース親子で 500 円（年間材料費）

○内 容

A コース 開催日	内 容 講 師	B コース 開催日	内 容 講 師
6 月 1 日	ミュージック・ケア① 音楽療法士 松本 鈴子 音楽療法士 井澤 満代 えくぼ会 6 名	6 月 15 日	ミュージック・ケア 音楽療法士 松本 鈴子 音楽療法士 川又 康子 えくぼ会 6 名
7 月 6 日	遊んで学ぼう①（七夕） えくぼ会 6 名 ピアノボランティア 井上 文代	7 月 20 日	親子劇遊び① （大きなかぶ・はらぺこあおむし） 特別支援教育支援員親子体操講師 青木 千鶴子 ピアノ講師 井上 文代 えくぼ会 6 名 上の子の託児（実技研修室）

			水戸市サブリーダーズ会 3~5名 Wa'mくーる代表 佐藤 友美乃
8月3日	親子ヨガ キッズヨガインストラクター 子安 美穂 ベビーマッサージ協会 渡邊 江津子 えくぼ会 6名 上の子の託児 (実技研修室) Wa'mくーる代表 佐藤 友美乃 水戸市サブリーダーズ会 3~5名	8月17日	遊んで学ぼう① (魚つり) えくぼ会 6名 ピアノ講師 井上 文代 上の子の託児 (実技研修室) Wa'mくーる代表 佐藤 友美乃 水戸市サブリーダーズ会 3~5名
9月7日	遊んで学ぼう② (小麦粘土) えくぼ会 6名 ピアノボランティア 井上 文代	9月21日	親子料理教室① (マサラカレー) 有限会社マサラプラスワン代表取締役 綿引 均 えくぼ会 6名
10月5日	親子体操 (運動会) 特別支援教育支援員親子体操講師 青木 千鶴子 えくぼ会 6名	10月19日	遊んで学ぼう② (ハロウィン) えくぼ会 6名 ピアノボランティア 井上 文代 Wa'mくーる代表 佐藤 友美乃
11月2日	親子料理教室① (M'sキッチン) 森永乳業㈱ えくぼ会 6名	11月16日	親子体操 (運動会) 特別支援教育支援員親子体操講師 青木 千鶴子 えくぼ会 6名
12月7日	遊んで学ぼう③ (クリスマス会) えくぼ会 6名 ピアノボランティア 井上 文代 Wa'mくーる代表 佐藤 友美乃	12月21日	親子劇遊び② (三匹のこぶた・てぶくろ) 特別支援教育支援員親子体操講師 青木 千鶴子 ピアノ講師 井上 文代 えくぼ会 6名
1月11日 [第2木曜日]	ミュージック・ケア② 音楽療法士 松本 鈴子 音楽療法士 井澤 満代 えくぼ会 6名	1月18日	親子料理教室② (パドゥーラ) 有限会社マサラプラスワン代表取締役 綿引 均 えくぼ会 6名
2月1日	親子料理教室② (房総花巻き寿司・お花) 料理研究家 野口 和子 料理研究家 水沼 清子 えくぼ会 6名	2月15日	親子料理教室② (房総花巻き寿司・タコさん) 料理研究家 野口 和子 料理研究家 水沼 清子 えくぼ会 6名
3月1日	遊んで学ぼう④ (ひな祭りとお別れ会) えくぼ会 6名 ピアノボランティア 井上 文代	3月15日	遊んで学ぼう③ (お別れ会) えくぼ会 7名 ピアノボランティア 井上 文代

※講座内容等については、別添資料一覧「ほっとひといき夢らんど 募集案内」を参照

(6) 国・県・他市町村・企業・NPO等民間非営利団体・教育機関との連携の推進

国や県・他市町村との連携を図り、相互の生涯学習に関する情報を共有するとともに、企業・NPO等民間非営利団体・教育機関と連携し、それぞれが持つ人的・物的資源の活用を図る。

① NPO法人 ひと・まちねっとわーくとの連携事業「茨城しぐさ」

② 水戸女子高等学校との連携事業「みと弘道館大学 ゼロからはじめるシニアパソコン教室」

※①, ②とも「2 全市的な生涯学習の推進 (1) みと弘道館大学の開催」参照

報告事項（3）

平成 29 年度市民センターにおける生涯学習活動の重点目標について

1 学習機会の充実

生涯学習活動の拠点施設である市民センターにおいては、「個人の要望」する学習による生きがいづくりを進めるとともに、家庭教育への支援や青少年の健全育成、少子高齢化への対応などの「社会の要請」に応じた、現代的課題を取り扱った学習機会の提供に努める。

また、内原中央公民館や各市民センターの一般教養講座・教室・クラブ等、みと好文カレッジの事業を総称した『みと弘道館大学』が市民に親しまれ、生涯学習が市民のライフスタイルに定着し生涯にわたって学び続けることができるような学習機会の提供に努める。

(1) 市民ニーズを捉えた学習機会の提供

市民の学習ニーズを把握し、健康で生きがいのある充実した人生を送ることができるよう、生涯学習のきっかけづくりを図るとともに、それぞれの世代に合った学習機会の提供に努める。

(2) 現代的課題を取り扱った講座の開催

変化の激しい社会情勢に対応していくために、成人学級、高齢者学級等の講座に現代的課題を取り扱ったテーマを組み入れるなどの手法により、地域課題を主体的に捉える学習機会の充実に努める。

また、事業実践集を活用しながら、地域団体と市民センターが一体となった協働事業を積極的に展開するよう努める。

(3) 家庭教育学級（ふれあい学級）等の開催

家庭は、子どもが基本的な生活習慣、生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、思いやりや善悪の判断、自立心や自制心、社会的なマナーなどを身につける上で重要な役割がある。

これまでのふれあい学級の内容に加え、未就園児や小学校低学年を中心とする家庭教育の支援を強化し、家庭が本来果たすべき役割を見つめ直し、親の役割、子どもの心の理解、躰など家庭での教育について考え、学び合う家庭教育学級等を開催する。

さらに、茨城県教育委員会が作成発行している「家庭教育ブック」等を活用し、小学校との共催により、就学時健康診断や入学説明会などの機会を捉えた家庭教育講演会を開催し、家庭の教育力向上に努める。

2 学習の成果を活かす環境づくり

生涯学習の成果がボランティア活動や地域づくりに活かせるよう支援し、地域内の人材の発掘・育成を行うとともに、地域の活性化や特色あるまちづくりにつながっていくよう環境づくりに努める。

(1) 地域資源の活用推進

市内には、歴史的な資産や史跡をはじめ博物館、歴史館などの文化施設、学校や大学などの物的資源やそれぞれの施設に所属する職員などの人的資源があり、豊かな地域資源に恵まれて

いる。このような地域にある資源を活用した事業を開催するとともに、生涯学習の振興に取り組む機関や団体との連携を図りながら、地域資源の有効活用に努める。

(2) 学習活動の成果を発表する場の創出

市民センターを会場に開催している講座の展示会や発表会など、学習の成果を発表する場を創出することにより、学習者同士や参加者との交流を拡大させ、新たなネットワーク構築に努める。

(3) 学習の成果を地域活動に活かす仕組みづくり

生涯学習の成果をボランティア活動や地域活動に活かすことが、地域の活性化に大いに役立つものと期待されている。市民センターで学んだ市民が、その成果を地域コミュニティ活動につながるよう人材の育成と活用に努める。

(4) 事業評価に基づく事業の推進

市民センターの講座や事業に参加した市民が日常生活の中で、学習の成果をどのように活かし、また、地域の中で、どれだけ活動に関わっているのかなど、事業の成果を検証することが求められている。

市民センターにおいては、実施した講座や事業について自己評価を行うとともに、自己評価をもとに、運営審議会等第三者機関による検証を行い、効果的な事業運営に努める。

3 学校、家庭、地域の連携の強化

学校、家庭、地域が目標や課題を共有し、それぞれが連携して対応策について取り組めるシステムを構築し、地域社会全体の教育力の向上に努める。

市民センターにおいては、それぞれをつなぎ結ぶ地域拠点施設としての機能を十分発揮する。

(1) 次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む

学校、家庭、地域が相互に連携を図りながら、様々な形で異年齢集団との交流や大人と接する事業など、子どもたちが直接体験する場を提供し、社会全体で次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む活動の推進に努める。

(2) 社会全体で支える家庭教育

子どもたちが健全に成長していくためには、良好な家庭環境や社会環境を整える必要がある。そのために、家庭の教育力の向上だけでなく、学校、家庭、地域が一体となって子どもたちの成長を温かく見守りながら、家庭教育を社会全体で支える仕組みづくりに努める。

協議事項（１）

さきがけ塾（後期）について

さきがけ塾（第四期・「参画と協働のひとづくり・まちづくり」コース）は、10月から2年次の講座がスタートする。

<資料>

さきがけ塾第四期生募集要項

さきがけ塾第四期・2年次講座内容

協議事項（２）その他